

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポートセンターゆうひが丘				公表日	令和8年2月18日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
密・ 環 境・ 体 制 整 備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○				
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○				
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	○		・日々のミーティングでは、経験年数に関わらず職員全員が自由に意見交換できる環境を整えております。一人ひとりの視点を活かしながら、目標設定や支援内容の改善について活発に話し合い、チーム全体の支援力向上に努めています。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・ご家族からのご意見やご要望へ、迅速に対応できるよう日々のミーティングで共有し、チーム全体で具体的な改善策を検討・実施しております。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・チーム会議、日々のミーティングの間では管理者やチーフだけでなく、職員全員が意見できるよう努めています。	・引き続き、職員の意見等を把握する機会を設け、業務改善につなげていきます。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○				
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・外部研修や勉強会への参加に加え、自宅でも自由に受講できるオンライン学習（スペシャラーニング）の案内など、職員が専門的なスキルや知識を習得できる機会を積極的に設けています。		
	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		・職員間でお子さまのストレンクスや課題面、ニーズ等について多角的にアセスメントを行い、保育所等訪問支援計画書を作成しています。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・児童発達支援管理責任者、ケース担当者を中心にチーム職員で話し合い検討しています。		
適 切 な 支 援 の 提 供	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		・事前の施設訪問を通じ、訪問先施設の担当者とお子さまの状況を共有し、支援の方向性を検討しております。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・保育所等訪問支援計画作成会議を実施し、チーム職員と内容を共有しています。支援実施後にはチーム職員とミーティングを行い、支援の実施状況や今後の支援について確認を行っています。		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・必要に応じて「新版K式発達検査2020」「WISC-V」「国リハ式（S-S法）言語発達遅滞検査」等のアセスメントツールを活用しています。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・保育所等訪問支援を行った際には、支援記録を全職員が閲覧できるようにし、ミーティングの場で情報共有も行っています。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・訪問支援の実施にあたっては、ご家族のご要望やお子さまの実態、事業所での支援経過、および訪問先施設での協議事項について、事前にチーム職員間で詳細な打ち合わせを行っています。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・ミーティング時に支援の振り返りを行い、記録を残すことで誰でも再確認できるようにしています。		

適切な支援の提供	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○	・訪問先施設がどのような教育・支援方針のもとお子さまと関わっているかを深く理解することを大切にしています。その上で、現場の状況に即した「実施可能な支援方法」の助言や、活用できる専門的な情報を提供できるよう心掛けています。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○	・支援後は実施に至った経緯や訪問先での様子、助言内容、引継ぎ時の様子等について記録し、職員が閲覧できるようにしています。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	・お子さまの支援に直接携わっている支援者を中心に参加しています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	・必要に応じて関係機関と連携を図りながら、お子さまやご家族が安心して過ごせるように努めています。	・医療機関等、十分に連携が図れていない関係機関については、今後、連携の図り方を検討した上で対応していきます。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	・就学時には「夢すこやかファイル」の書式を用いて引き継ぎ書を作成し、進学先への円滑な情報提供を行っています。また、就学後に保育所等訪問支援を実施する際も、就学前の様子やこれまでの支援経過を共有することで、環境の変化に配慮した継続的な支援に努めています。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○	・子ども部会に参加しています。 ・同法人より児童発達支援センター会議に参加しています。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	・保護者への引き継ぎや個別相談等を通して、お子さまの「できていること」「がんばっていること」「成長していること」と併せて、課題や支援内容についても伝え、保護者と共通理解が図れるようにしています。	
26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	・保護者向けにペアレント・プログラムを実施しています。		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○	・訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について説明を行い、内容を理解していただいた上で連携会議や保育所等訪問支援を実施しています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○	・保育所等訪問支援計画は、関係機関との連携のもと、お子さまとご家族が地域の中で安心して生活できることを目的に作成しています。ご家族へ丁寧な説明を心掛け、お子さまの変化や状況に応じて適宜、計画の見直しを行い、ご同意をいただいた上で支援を進めております。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○	・日々の引き継ぎや定期的な個別相談等を行っています。また、必要に応じて随時、個別相談や電話相談も承っております。ご家族が一人で抱え込まず、安心して生活できるよう、ご家族に寄り添った迅速な対応に努めています。	
32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○	・法人内の他事業所と合同で保護者会を開催し、ご家族同士の交流の場を設けています。また「きょうだい児支援会」を通じ、ご本人だけでなく、きょうだい児も共に楽しく過ごせる機会を提供し、ご家族全体のサポートに繋げています。		

保護者等への説明等	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・関係機関との情報交換については事前に保護者の了承を得てから実施しています。 ・個人情報記載書類について、施錠できる書庫にて保管、管理しています。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		・保育所等訪問支援だけでなく、お子さまやご家族への支援、その他の相談についても、随時対応しています。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		・訪問先での様子や施設担当者との協議内容は、面談や電話にてご家族へ報告しています。また、ご家族の意向や気になる点についても確認し、関係機関とのさらなる連携強化と、今後のより良い支援に繋げています。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		・訪問先施設の環境や方針等を踏まえ、実際に活用できる支援方法や助言、提案等ができるよう努めています。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各種マニュアルの策定、職員会議での研修、災害・防犯訓練等を実施しています。各種マニュアルは事業所玄関に設置しています。 ・ご家族へはおたよりで避難訓練の予定をお知らせし、実施した内容について説明しています。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・再発防止に向け、ヒヤリハットを作成しています。また、同法人内でヒヤリハットを共有し、各ヒヤリハットの事例を通して、より安全な支援の検討、実施に努めています。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・定期的な研修の実施に加え、日頃のことば遣いやお子さまへの関わり方を見つめ直し、虐待に繋がる「小さな芽」を未然に防ぐ意識を職員間で共有しています。チーム全体で常に自省し、安全で安心な支援環境の維持に努めています。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・原則として身体拘束は行いません。お子さまの気分が高揚し、怪我や事故の恐れがある緊急時には、あらかじめご家族と協議した方針に基づき、刺激の少ない場所へ誘導するなど、安全の確保と情緒の安定を最優先に対応いたします。